

理科で魚がつれるようになる！？

✓ SDGsラジオを読んでみよう！

多くの人に親しまれる魚つり。みなさんは、魚つりをしたことはありますか？
海や川にエサを投げて魚をさそったり、エサに似せた「ルアー」を使ったり、魚をつるには、ただ待つだけではなく、いろんな工夫が必要なんです。魚つりは、理科で習ったことが役立つんですよ。
魚がどこにいて、なにを食べるのか？天気や風のようすは？自然のことを考えながらやると、魚つりの楽しさも広がります。
つり具とスポーツ用品をつくる会社「グローブライド株式会社」は、つりを通して、子どもたちに自然の奥深さと楽しさを伝えています。
たとえば、魚の気持ちを想像するクイズで魚の行動を学んだり、好きな色をぬって、自分だけのルアーを作ったり。
そんな楽しい体験を通して、「自然と人とのつながり」を学べるんですよ。
楽しい、だから知りたい！そんな気持ちこそ、地球を大切にすることにつながっていきます。
みなさんも、なんでだろう？と思ったことは調べてみてくださいね。

✓ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：イベントの様子
(グローブライド株式会社HPより)



画像参照：ルアーと色ぬりの様子
(グローブライド株式会社HPより)

自然の中には、たくさんの学びや発見がかくれています。たとえば、自然の中で行う魚つり。たとえ魚がはりにかかるのを待っているだけのように見ても、いろいろな工夫をするおもしろさがあり、たくさんの人に親しまれています。そこで、魚つりを通して子どもたちに自然の奥深さと楽しさを伝えているのが、つり具とスポーツ用品をつくる会社「グローブライド株式会社」です。その取り組みのひとつとして、「自然を知り、考える」ことをテーマにした体験イベントを行っています。イベントでは、先生の話やクイズを通して、魚のことを知り、どこに行けば会えるのか、どんなエサが好きなのかななどを学んでいきます。魚が好む場所や食べもの、魚つりにぴったりな天気や水の流れ、水温など、魚つりを通じて自然のしくみを知る中で、「おもしろい！もっと知りたい！」という気持ちが生まれます。

さらにこのイベントでは、魚のエサの形に似せた道具「ルアー」に自分の好きな色をぬる体験もあります。魚や虫、鉱物などのさまざまな図鑑を見て、つりたい魚を思い浮かべながら透明なルアーに色をぬっていくことで、自然への興味やものづくりの楽しさを感じることができます。
自然を大切にする気持ちは、自然を「知って」「体験する」ことで育ちます。魚つりは自然と向き合うスポーツで、魚と出会う瞬間にはワクワクや感動、「ありがとう」の気持ちがわいてきます。魚がつれるのはたまたまではなく、自然のことを学び、よく見て行動したからこそです。また、その中で自然の大変さや、危険から身を守る知恵も身についていきます。こうした体験を通して育った「自然を大事にする心」は、将来、自然を守る行動につながります。

✓ キーワード

つり具

魚つりをするときに使う道具のことです。つりざおやルアー、糸などがあり、魚の種類や場所によって使い分けます。

ルアー

魚を引きよせるために使う、エサに似せた道具のことです。魚つりのときに、魚がエサとまちがえて近づいてきます。

鉱物

地球の中でできた石や金ぞくなどのことです。いろいろな形や色があります。

✓ 対象ゴール



みんなにできること！

自然や生きものの「なんでだろう？」を調べて、わかったことを記録してみましょう。

おさらい

- 魚つりを通して自然のしくみを知ることで、「もっと知りたい！」という気持ちが生まれる。
- グローブライドは、魚つりを通して子どもたちに自然の楽しさや大切さを伝えている。
- 魚つりの体験から、自然を大切にする気持ちや行動が生まれていく。

メモ



SDGs ラジオ